

<概要>

市内の新型コロナウイルス感染症の患者数が**感染拡大警報レベル**となりました。今後、感染者が更に増加することで、医療がひっ迫し、必要な治療を受けられないケースが発生するおそれがあります。感染対策として換気、手洗い・手指消毒、咳エチケットなどを心掛けてください。

<静岡市内の感染状況>

●市内の新型コロナウイルス感染症の定点医療機関あたりの状況

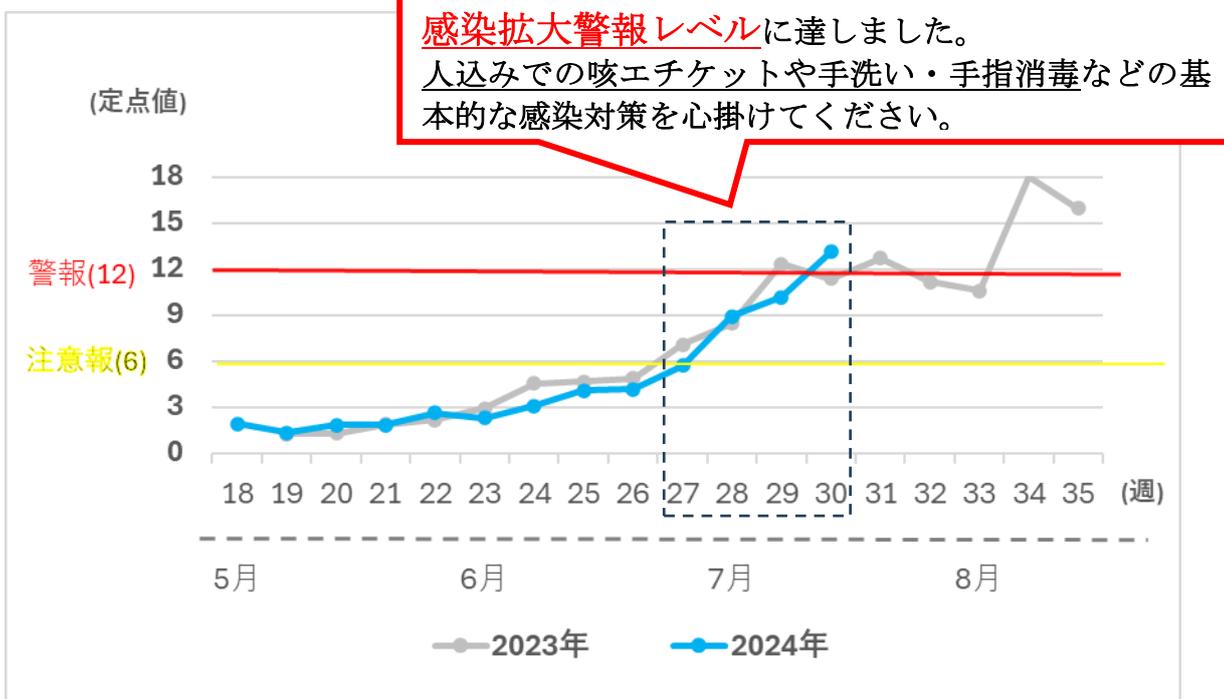
(令和6年7月31日時点)

	令和6年 27週 (7月1日～ 7日)	令和6年 28週 (7月8日～ 14日)	令和6年 29週 (7月15日 ～21日)	令和6年 30週 (7月22日 ～28日)
1 定点あたりの患者報告数	5.72人	8.92人	10.16人	<u>13.12人</u>
1 週間あたりの市内の推計患者数(※)	1,272人	2,056人	2,360人	3,086人
1日あたりの市内の推計患者数(※)	182人	294人	337人	441人

警報
レベル

(※)市内の定点医療機関における患者報告数から、過去のデータ(第7波～第8波)を基に算出した市内の推計患者数

●定点医療機関からの患者報告数の推移



●感染拡大警報レベルとは

・新型コロナウイルス感染症における、1週間あたりの新規感染者数が、人口 10万人あたり400人以上、静岡市保健所管内(静岡市内)の警報基準値は、定点医療機関あたりの患者数が 12人/週以上となっています。

<静岡市からの呼び掛け>

感染症予防は、日頃から個人での感染対策が重要です。

特にこれまで、新型コロナウイルスに複数回感染した方は、**感染対策を見直す**ようお願いします。

また、体調不良(発熱・咳・のどの痛み等)時に外出すると、更に症状が悪化するとともに、他人に感染させてしまう可能性があります。**発熱等の症状がある場合は無理をせず休養するとともに、早めの医療機関の受診をお願いします。**周りに体調が悪い人がいる場合は休みやすい環境づくりを心掛けてください。

【感染対策のポイント】

- 1) こまめな手洗い・手指消毒をしましょう。
- 2) 換気を心掛けましょう。
- 3) 人混みでは、咳エチケットを励行しましょう。
- 4) 感染予防を心がけ栄養や休養をしっかりととり、体調を整えるようにしましょう。
- 5) 健康に配慮が必要な方やその身近にいる方は特に感染対策を心掛けてください。